

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	13	藤原信宏 (一問一答)	<p>1.三刀屋地域の都市計画について</p> <p>2.高齢者等の安心・安全生活サポート事業の推進について</p>	<p>(1)過去の用途指定に係る県協議で焦点になり、開発行為の誘導・規制が最も必要と思われる森の本・新田地区が用途地域の指定から外れた経緯を伺う</p> <p>(2)本地区の農道沿いに賃貸住宅が建設中で、今後は次々と宅地化される。早急に本地区の地区計画、少なくとも道路計画を具体化し秩序ある開発を誘導されたいがどうか</p> <p>(3)この上は農道を適切な時期に市道認定すべきと考えるがどうか</p> <p>(4)現農道への上水・下水の本管敷設の考え方を伺う</p> <p>(5)今ある程度の風俗施設が新たに開店できないのは賑わいの面で淋しい。商業地域を指定しなかった経緯を伺う</p> <p>(6)新田川本流は平成22年度中に完成の予定である。本線改修の大方の目途が立った時点で、ポンプ整備を検討すると回答を得ており、早期に排水ポンプを設置するよう計画されたいがどうか</p> <p>(7)都市化が進む地域では、賃貸住宅の増加が自治会等に参加している住民の負担や義務の不公平感を募らせ、組織の一体感や活動意欲を阻害している。自治会結成や地域活動への取り込み、負担金支弁等の働きかけの考えについて伺う</p> <p>(1)奥出雲町では在宅でのサポートサービス充実を目指して、「テレビ電話ネットワークを活用した、高齢者が自宅で安心・安全に元気で過ごせる在宅支援システム」の構築に取り組んでいる。本市で取り組む考えはないか伺う</p> <p>(2)事業内容は何であれ、「地域ICT利活用モデル構築事業」の応募について検討されたかどうか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3.裁判員制度の周知徹底について</p> <p>4.海潮温泉の公共入浴施設閉鎖に伴う新施設整備について</p>	<p>(1)裁判員制度がスタートする。市民の不安や負担感を軽減するためにも、十分な広報・啓発が望まれる。市の果たすべき役割と、参加しやすくするための制度の説明・研修会の開催等、周知徹底の考えを伺う</p> <p>(1)ゆとりの里の閉鎖方針は、もともと老朽化した温泉施設の7,000万円に上る緊急を要する修理費が拠出できないためにコスト節減と市有施設の見直しの観点から決定されたと認識している。「まず新施設の建設ありき。22年工事着手の方向」の方針はあまりにも安易すぎないか</p> <p>(2)「桂荘の浴場閉鎖」は適化法に基づく処分制限を受ける財産に該当する。補助金返還額は如何ほどか</p> <p>(3)中期財政計画にも計上されていない箱物が財政計画の検討もなしに建設方針を示される事に大きな抵抗感を覚える。平成24年度の収支均衡を前提とした財政健全化計画において、温泉施設建設の是非、可能性についてどのように検討されたのか市長に伺う</p> <p>(4)公共入浴施設を3つも抱え、必要な経費負担も出来なかった経緯を謙虚に受け止め、多角的見地からの機能や規模等建設の是非も含めて多くの意見を取り入れ、時間をかけて慎重に検討すべきだ。平成22年度着手の方針を一度撤回されたいがどうか</p>	
2	2	周藤正志 (一問一答)	<p>1.経済・雇用状況について</p> <p>2.定住促進策について</p>	<p>(1)市の最新の経済・雇用状況はどうか</p> <p>(2)派遣の雇い止めなど困窮者への対応は十分か</p> <p>(3)福祉や農業分野への雇用創出策は何か</p> <p>(1)雇用促進住宅に関する国との折衝状況と入居者への対応はどのようにしているか</p> <p>(2)市の中心部(顔)である三刀屋地内の54号線沿いにアパートが建ったが、都市計画上これでよいか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.子どもの安全と子育て支援について	<p>(3)住宅マスタープランにおいて、若者定住マンション・アパートの建設計画はあるか</p> <p>(1)木次町里方地内の54号線沿いにコンビニエンスストアが開店予定である。出入りの車が多くなるが、通学時間帯の安全確保が必要だと思うがどうか。又、除雪により車道を歩かなくてはならないが安全は確保されているか</p> <p>(2)平成21年度から幼稚園で「預かり保育」を実施することだが、ニーズの状況はどうか。又、現行の職員体制では不可能ではないか</p> <p>(3)幼稚園のあり方そのものが検討されているのか。又、幼保一元化についてどう考えているのか</p>	
			4.環境・エネルギー政策について	<p>(1)住宅用太陽光発電装置に係る補助が余りにも貧弱である。積極的に推進すべき環境エネルギー政策についての認識は如何なるものか</p> <p>(2)RDFは有効に利用されているのか</p>	
			5.農業政策について	<p>(1)肥料・燃油高騰対応緊急対策事業は実効あるものとなっているのか</p> <p>(2)市の新規就農への支援策は十分か</p> <p>(3)付加価値の高い「売れる米づくり」のための生産段階における具体方策は何か</p>	
			6.雲南ブランド化プロジェクトについて	<p>(1)オーベルジュうんなんの経営計画はどうか</p>	
			7.公立雲南総合病院について	<p>(1)経営コンサルタントの成果の位置付けと、これをどう活かすのか</p> <p>(2)今後「繰出基準+経営補填」をすることだが、財政規律上問題があるのではないか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			8.市民との協働のまちづくりについて	(1)交流センター構想について、市民の理解を得るための手法や進め方に問題があったと思うがどうか  (2)高齢化や自治会役員のなり手がなく、今後確実に地域コミュニティ力は弱くなる中で、地域自主組織や交流センターは、人材・労力面で果たして持続可能なシステム・仕組みなのか  (3)地域委員会の地域自主組織・交流センターとの関わりと位置付けはどうか	
3	6	細木和幸 (一括)	1.市道整備について  2.介護保険事業の充実について  3.個人情報保護における「過剰反応」について  4.ホームページ利用者の実態について  5.いわゆる「カタカナ言葉」の使用について  6.郵政民営化後のサービス実態について  7.学校給食におけるアレルギー対策について  8.学校の部活動経費について	(1)市道整備は地域への夢を与える喫緊の課題である。特に合併前からの要望箇所については、国・県へ一段と要望を強め、整備を充実させてほしいが見通しは  (1)在宅福祉サービスの中心である「通所介護事業」で利用者数の増加から支障が出ていると聞く。行政としても大きな問題であるが、状況と充実に向けての対応を伺う  (1)個人情報であれば何でも「保護」だという誤解があり、健全な社会活動に支障があるが所見を伺う  (1)ホームページでの周知等が多用されるようになったが、市内での利用の出来る方の世帯、人口比を伺う  (1)国際化、情報化時代の到来と共に、カタカナ言葉が氾濫している。対応の出来にくい高齢者が多い中で所見を伺う  (1)郵政民営化後のサービス実態について、どのように感じているのか伺う  (1)学校給食における「食物アレルギー」対応について実態を伺う  (1)部活動経費について、学校側からどの程度のものが出ているのか伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
4	17	堀江治之 (一問一答)	1.合併協定書について  2.中・長期財政計画について  3.プレミアム付き商品券の発行について  4.小規模修繕工事等希望登録制度について	(1)合併協定書で協定された事項で、未実施の事項があるのか ないのか伺い、あるとすればどの項目なのか、又、今後何 時頃どのような予定で実施されるのか伺う  (1)市政運営において、下記事項の中・長期財政計画の考え方 について伺う 各施設の維持管理(修繕費)について 企業会計補助金について 新庁舎建設について 雲南総合病院について 消防救急無線デジタル化について 雇用促進住宅について 学校耐震化・改築について 平成24年度収支均衡予算について  (1)周辺の多くの自治体がプレミアム付き商品券の発行を計 画、又、実施されているが、雲南市での取り組みの考えは ないのか伺う  (1)2月臨時議会において、懸案となっていた各施設の修繕費 の補正予算が計上されたが、小規模修繕工事等の希望登録 制度の新設の考えはないのか伺う	
5	3	山崎英志 (一問一答)	1.公設民営の温浴施設に ついて	(1)雲南市民、特に大東町民の意見を事前に聞くこともなく、 一方的に海潮温泉4施設の指定管理の打ち切り、ゆとりの 里閉鎖に市民は納得していないがどう考えるのか  (2)合併前の平成12年に建設施工業者から将来に渡る修繕経 費の見込み額が提示されていたにも関わらず、旧町も含め 雲南市がそれに対する備えをしなかったのは何故か  (3)ゆとりの里従業員の再就職先の状況とそれに対する雲南 市の再就職支援の状況は  (4)かじか荘、桂荘、ゆとりの里の3温浴施設を整理統合し、 平成22年度に新たな温浴施設を建設するという計画であ るが、雲南市の現在の財政状況からいってどの程度の規模 の温浴施設を想定しているのか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.プレミアム付き商品券の発行について  3.河川の改修計画について	(5)今後、大東町以外の市内の公設民営の温浴施設についても、いずれ老朽化することとなるが、これらの施設の将来的な維持管理についてどのように考え対処するのか  (1)景気低迷の中、定額給付金の支給に合わせ、雲南市内の中小零細小売業・サービス業の消費拡大のためにプレミアム付き商品券の発行を雲南市としても是非検討して頂きたいが如何か  (1)平成17年7月、平成18年7月、平成19年8月と度重なる豪雨による被害を出している大東町幡屋地区の遠所川改修について、雲南市はどう考えているのか	
6	19	小林 眞二 (一問一答)	1.消費者相談業務について  2.中山間地域をはじめとする過疎化地域対策について  3.雲並団地隣地の開発と市道の改良について	(1)雲南市消費者生活センターを設置したいとのことである。国の制度を活用しながら、消費者業務の充実を図るとあるが、設置の経緯と国の制度の活用とはどんな活用をするのか  (2)雲南市ではどのような窓口を設ける考えか。また、相談に対応する人について、年齢や資格など、どのような考えか  特に減少地域への定住対策について (1)人口が減少している地域ではどのような問題、課題があると考えているのか  (2)人口減少地域とコミュニティーの将来像をどのように考えているのか  (3)人口減少地域への定住対策としては、どのようなことが考えられ、又、施策を講じて来たのか  (1)土地開発公社が売り出した雲並団地の販売状況と入居者の声はどうか  (2)加茂町雲並定住促進期成同盟会から要望書が出されている「団地造成」と、かねてより小学児童の通学路「市道中村家路線」の拡幅改良についての基本的な考えは	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.市内の温泉、又、入浴施設の運営状況について	<p>(1)各施設の利用者数の収支状況及び今後について何う。 直近3年間の利用者数と20年度見込み数との比較 温泉・温水施設ごとの修繕費を含む管理運営費と収入額の合計及び21年度の予想額は</p> <p>(2)各施設(箱物)の建物劣化度実態調査は行っているのか。又、施設修繕計画は策定されているのか。これに伴う費用負担は中期財政計画に反映すべきと思うがどうか</p> <p>(3)利用者へのサービスの向上、及び利用者の声の集約はどのように対応しているのか</p>	
7	8	安井 誉 (一括)	<p>1.交流センター構想について</p> <p>2.誘致企業について</p> <p>3.豪雪対策について</p>	<p>(1)合併後、協働のまちづくりの施策として自主組織の立上げ、交流センター構想の実現に向かって精力的に取り組まれてきた。 市民の認識度には差が有ると思うが、現状をどう受け止めているか 平成22年4月から交流センターとして一斉スタートと理解しているが、これから1年間のスケジュールについて何う</p> <p>(1)現在何社の誘致企業が市内にあるか</p> <p>(2)誘致された年月は異なると思うが、その後、誘致時の契約に変更があるか何う。当初予想した雇用人数、法人税等変更があれば提示していただきたい</p> <p>(3)雲南市内からの雇用者は何人で何%か</p> <p>(4)企業育成策は今後どのような点を考えているか。今後も雇用促進の面からも、誘致が考えられるが、推進にあたっての問題があるか。育成する立場からの考え方を何う</p> <p>(1)1月9日からの雪害について、被害者の救済、支援策について何う 農業施設、山林、電気・通信、夫々の被害金額はいくらか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.活性化対策について	<p>緊急対応のスピード感に課題が残ったが、裁量権と予算を総合センターに与えることが必要と思う。見解を伺う 森林組合、木材業者との協定を結び、体制の構築をする必要があると思うが、どのように考えるか 森林資源を誰が守っていくのか。国・県・市あげて支援しなければならない。財源を求め特別交付金の獲得に全力を注ぐべきと考えるが、山林災害は特に訴えるべきと思う。市で対策本部ができなかった理由を伺う</p> <p>(1)大都市、都市近郊へ職員派遣することによって情報収集し、雲南市の産業、林業、農業の活路を見出したらよいと思う。又、雲南市の文化の宣伝効果もあると思うが、その派遣策と10年先に見込まれる成果について伺う</p>	
8	1	佐藤隆司 (一問一答)	<p>1.雇用促進住宅について</p> <p>2.雲南市立小中学校及び幼稚園等適正規模適正配置検討委員会の答申について</p> <p>3.交流センター計画について</p>	<p>(1)独立行政法人雇用・能力開発機構に対し、譲渡を申し入れているが、その後の経過についてはどうか</p> <p>(2)譲渡後の10年間は住宅維持修繕が必要とされるが、譲渡条件と今後の対応についてはどうか</p> <p>(1)木次中学校・三刀屋中学校の整備方針については統合せず、それぞれの場所で早期に整備する方向が望ましいとの中間報告がされた。この度の最終答申を受けての今後の中学校教育環境の考え方はどうか</p> <p>(1)これまでの地域づくりの拠点公民館を、交流センターとして地域自主組織の活動拠点にすることは、市民による新たな協働による地域づくりを取り組む計画であることの認識で間違いはないか</p> <p>(2)現在ある公民館の施設には格差があるが、この度の21年度予算で施設整備をされ、その充実を図られるがその後の施設修繕が生じた場合についてどう対応するのか</p> <p>(3)交流センターに関する予算が示されているが、これはスタート段階の予算であり、今後、地域自主組織活動の充実を推進するための予算確保はもとより、市民のやる気と元気が生まれる予算措置を考えているか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.経済対策について	(1)雲南市における元気が出る経済対策として、住宅助成制度についてはどうか	
9	7	土江良治 (一括)	1.結婚対策について	(1)今「あなたの結婚を応援します。無料相談サロン」がこの1月から開設されているが、行政の姿が前面に見えてこない。市の少子化対策は「子育てするなら雲南市」と、「結婚後」からが出発点となっている。もっと積極的に「縁結び係員」を配置するなどの施策を執るべきではないか	
			2.国・県事業に対する負担額の軽減について	(1)道路・河川整備を巡る国直轄事業負担金は、法が負担を義務付けしているものの、最近大阪府知事などは制度改革を要望し、検討事項となった。今回雲南市における国・県事業負担金の制度の現状と現行負担率、及び総額はどうか  (2)市の事業は聖域なく削って、予算の組み立てをしている。今回予算計上に当たって、そのような額について漫然と計上するのではなく、大阪府知事に同調し、関係市長会等において、制度改革も含め、負担金額軽減の要望展開を実施していくべきと思うがどうか	
			3.尾原ダム湖周辺整備について	(1)広島県旧八千代町にある土師ダムは完成後30数年。ダム湖の観光、スポーツ施設なども利用率が低迷、維持費の持ち出しが続くとある。そのような姿にしてはならない。次のような提案をするが市長の見解を伺う 晴天日、いつ訪れても本提前に虹が架かるダム 残度処理場に珍樹園 手をつなぐ桜並木(連理桜づくり)	
			4.「集落支援員」制度の導入について	(1)総務省は2008年9月、行政による十分な目配りができない集落が増える対応策としてこの制度を作った。支援員の予算は、特別交付税で措置されるという。この制度をどのように検討されているか伺う	
			5.今冬の山林被害と里山の作業道新設促進について	(1)今年の造林木被害は目を覆う被害。後始末するにも倒木折木で山に入ることすら出来ない。このまま放置されれば荒廃が進む。猪などの棲み家となるだけである。一方、農地と同様、不在地主化が進む。今こそ作業道網に力を入れるべきではないか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
10	23	石川幸男 (一問一答)	1.地域経済対策について  2.農業生産基盤整備について	<p>(1)急速な景気悪化の影響が、企業経営や雇用など深刻化する中で、雲南市でも国の第2次補正予算経済対策に呼応した緊急経済対策と、単独での商工業支援対策などが、実施されようとしている。島根県は、新年度予算で景気対策を最優先課題に掲げているが、本市は予算を圧縮、財政健全化を最優先する方針に変わりはなく、不況の影響が今後更に本格化する恐れが強い現状で、地域経済を支え、雇用を創出、活性化させ、需要や消費を喚起させる、今、市民の心に響くものが市政運営に求められていると思うがどうか</p> <p>(2)公共事業の削減で、受注減少と競争激化で、市内の関連業界は熾烈である。雇用創出効果や速効性が期待できる真に必要な公共事業の前倒し実施を、真剣に模索してはどうか</p> <p>(3)地域活動の拠点施設、交流センター化に要望の多い施設整備について、この際一体的に整備してはどうか</p> <p>(1)農業政策は今、地域の農業の再生のため、農地の有効利用の促進と併せて、担い手や集落営農など地域ぐるみでの共同活動、営農活動への支援、高齢者や小規模農家が安心して農業に取り組める環境づくりが進められ、生産基盤の整備も促進されている。 食料の安定供給の確保、農業の持続的発展、農村の振興を視点に、地域の農業の再生のための「生産基盤」について、現状認識と課題を問う</p> <p>(2)中山間地域総合整備事業について 中山間地域の、立地条件に沿った農業生産基盤、農村生活環境等の整備を、総合的に行うことで、農業・農村の活性化を図るとともに、地域の定住促進・国土・環境の保全等に資することが事業目的である。本事業の評価を伺う 平成18年度採択(大東町及び木次町)の大原地区事業が平成23年度終了する。事業は当初計画の半分で実施され、積み残しが半分あり、2期目実施に要望と期待が多く出されている。残事業の取り組み状況と、方針を問う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3.交通手段の支援策について(交通弱者支援)</p> <p>4.ゆとりの里閉鎖について</p>	<p>平成 24 年度、確実な実施に準備を急がなければならないが、スケジュール的には、いつ迄に、何を、何処で、どうしなければならないか、手順を問う</p> <p>(1)タクシーやバスなどの交通機関が少ない、山間地の「交通弱者」である子供や高齢者の移送の仕組みづくりについて</p> <p>過疎化・高齢化が進んだ集落では、交通手段の確保は日常生活と集落の維持に直結する課題だ。住民ニーズに対応できない状況を、どのように把握、認識されているか 島根県は、「知恵」で、道路運送法の枠外となる「自治会等輸送活動支援サービス事業」を創設した。本市の地域自主組織や、自治会、まちづくりグループなどで、県の事業や市の地域振興補助金を活用しながら、過疎地の交通弱者を地域で支える仕組みづくりについて方策を問う</p> <p>(1)施設の老朽化により本年 3 月末で「ゆとりの里」を閉鎖、海潮温泉入浴機能を整理統合した新施設整備の件について、地元町内各地域で意見交換会が開催された。愛着と閉鎖を惜しむ声を多く聞くが、意見をどのように反映されるのか</p>	
1 1	5	西村 雄一郎 (一括)	<p>1.三刀屋中学校改築について</p> <p>2.地域自主組織(交流センター構想)について</p>	<p>(1)学校、PTA 他住民の声の収集は</p> <p>(2)校舎の位置、規模、教室等建物の内容と構成</p> <p>(3)中期財政計画の 23 年度、24 年度に折り込まれていると承知しているが相違ないか</p> <p>(4)今般の国の経済対策において、8 倍近くの財源がもたらされた。中期財政計画を前倒し、見直し、三刀屋中学校については、24 年度供用開始とならないか</p> <p>(5)改築の計画を早期に示していただきたいがどうか</p> <p>(1)地域自主組織による地域経営の手法を採用した意義は何か</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 市民生活の安全安心について	<p>(2)交流センター構想とは『地域自主組織による地域経営を交流センターを拠点として行うこと』と考えるがなぜか</p> <p>(3)社会教育について、公民館廃止後、公の立場から行われるべき組織的、継続的、意図的、計画的な社会教育をどう保障していくのか</p> <p>(4)小地域福祉ネットワークについて、地域福祉委員会活動を継続するにあたり、雲南市社会福祉協議会と十分に打ち合わせがなされ、予算的に、或いは人的に保障できるか</p> <p>(5)地域自主組織の理念、役目等条例化等する考えはないか</p> <p>(1)商店会設置の街路灯も防犯灯の一翼を担うものとしての位置づけが必要ではないか</p> <p>(2)ハザードマップについて 市民への告知はいつの予定か 工事等で土地の状況が変化すればハザードマップを見直す必要があると考えるがその態勢はできているか。併せて過去に行われてきたかどうか伺う</p>	
			4. 雲南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	<p>(1)未曾有の経済危機、雇用不安のこの時期に時間短縮を行うことについて市長に所見を伺う</p> <p>(2)年間でどれくらい労働時間が短くなるのか、一人当たりと雲南市全体それぞれに</p> <p>(3)窓口業務等に支障はないのか。市民が不便にならないか</p> <p>(4)職員の時給が上がるが、非常勤職員はどうか。格差拡大の助長にならないか</p> <p>(5)交流センター等、関連機関の職員はどうか</p> <p>(6)ワークシェアリングの導入は検討しているか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
12	15	村尾晴子 (一問一答)	1.環境問題について  2.教育問題について  3.地域活性化のまちづくりについて	(1)省エネ、新エネ設備等の導入について 太陽光発電の導入は ハイブリッド自動車の導入は CO2削減のための行動促進は 最終処分場について  (1)小中学校図書司書の配置事業について 学校図書司書の必要性と今後の配置目的は 司書と教員と共通認識で図書館活用教育を目指し、研修 会等の実施をすべきと考えるがどうか  (1)尾原ダム周辺整備について エントランス広場、湯村地内の古民家を改修して開設さ れる農家レストランの実施計画は	
13	4	高橋雅彦 (一問一答)	1.雲南市緊急経済対策に ついて  2.市の施策判断について  3.産業振興について	(1)緊急対策による雲南市の実施計画との整合性の確保は、又 優先順位の判断は  (2)経済情勢によっては、財政健全化の凍結も考えられるのか  (1)市民の施策判断は極めて大きいものがある。いかに市民の 声が正しく伝わって来るかがキーとなってくる。市長・市 職員、或いは議会も、市民が安心して暮らせる地域づくり を目指しているが、情報開示が遅れたのは、その判断に対 する情報不足があったと考えられる。どのように情報を市 内部で検討しているのか伺う  (2)新しい雲南市を作るため、各種プロジェクトが進行してい るが、受ける市民の方は、情報発信がバラバラに動いてい るように思われている。出来れば発信及び総合調整も含 め、対応について少し整理すべきではないか  (3)パブリックコメントは、少し手を広げる必要はないか  (1)雲南市農商工連携協議会の設立は、今後の雲南市の産業振 興にとって大いに期待をしたい。特に雲南ブランド化プロ ジェクトの推進との連携も重要と考えるが、市の対応とし ても、各部をまたがる対応が必要ではないか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>4.小中学校・幼稚園適正規模・適正配置の答申に対する取り扱いについて</p> <p>5.総合型スポーツクラブの設立について</p>	<p>(2)平成 22 年度実施を目指し、J A 雲南が事業主体でライス拠点の整備計画が考えられている。そのため市としての対応を検討されているのか、土地の準備や自己負担部分がかなり大きいものである。米の値が下がる中で、利用料の負担を少しでも低く抑えるには、市の更なる支援が必要と考えるがどうか</p> <p>(1)2 年にわたり検討委員会で協議され、答申をされたところである。答申内容を見ると、非常に細部にわたって検討されているが、一部方向性は出されているものの、全体的には課題提議となっている。今後、保護者や地域の方々の意見を聞くよう計画されているが、市としてある程度方向性を持って協議に出されなければならないと思うがどうか</p> <p>(1)各地域で総合型スポーツクラブが設立されている。その背景は地域でアスリートを育てる事と、健康な市民を作る所である。一例では医療費や介護費用が 1 割から 3 割削減された例がある。総合型スポーツクラブの成果が出るには各施設の整備や福祉事業との連携も必要であり、健康で豊かな市民のためにも、市・教育委員会も、積極的に取り組んでいただきたいがどうか</p>	
1 4	2 2	板 持 達 夫 ( 一 括 )	<p>1.障害福祉計画について</p> <p>2.幼小中適正規模適正配置の答申について</p>	<p>(1)平成 18～20 年度第 1 期障害福祉計画に基づいて施策が展開され、現在第 2 期計画が策定中だ。 第 1 期計画の検証をどのようになされたか。十分実施された点、課題の残った点について伺う 第 2 期計画の重要ポイント、狙いは何か。障害者自立支援法と今期計画の整合性及び雲南市独自の計画ポイントは 単なる計画にとどまらず、実効計画であるべきだ。どのような認識で策定されるか 就労支援の一環として、きすきの里では便所掃除の財政支援があった。新年度で打ち切られると聞くが何故か</p> <p>(1)昨年 12 月検討委員会から答申があった。 答申について、教育委員会はどのように受け止めているか。認識を伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.産業振興センターの雇用確保対策について	<p>答申では複式学級の解消、極小規模幼稚園の扱い、小中学校の望ましい規模等について記述されているが、教育委員会としては、これを基本として方針決定する考えか地域合意形成を図ることが今後重要課題となるが、その取り組みについてどう努力されるか</p> <p>(1)産業振興センターは、雇用創出、新産業の創出、企業誘致について大きな役割を果たしてきた 新規学卒者の就職内定状況は正に氷河期だ。卒業し、地元に戻り、定住する希望があっても、就職先が見つからない。産業振興センターとして、雇用確保の対策について伺う 産・学・官の連携はより重要となってくる。定住化を進める上で、雇用の創出、確保が決め手になる。連携を図る戦略をどのように描いているのか伺う</p>	
15	9	福島光浩 (一問一答)	1.防災について	<p>(1)今までにない形の被害をもたらした今回の大雪。雲南市の防災対策、対応のあり方について、色々な問題点が浮き彫りになったと感じているが、その所見、今後の対応を伺う 他の自治体では、災害対策本部を設置して対応した所がある。雲南市では、大雪をうけてどのような体制が組まれたのか 想定外だった長時間の停電が市内各所でおきた。電気がこないことでの、想定していなかった緊急連絡体制について、そのあり方を再考しなければならないと考えるが如何か ロータリー型除雪機の必要性を強く認識されたと思う。広域の機械配備、体制構築を図るべきと考えるが、どのように対応していくのか 過疎高齢化が進み、除雪が困難な家庭、集落が多くあることが浮き彫りとなった。そして、地域の自主的な対応にも限界が来ていることも明らかになった。消防団の出勤、また広域の市民活動が必要と感じたが、所見を伺う 集落、自治会で対応しきれない後処理が多く予想される。2次災害を防ぐため早期の対処が必要だが、現状と今後の対応策について伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.交流センター構想について  3.学校支援体制について	(1)今、市民が一番求めているのは「説明」だと考える。このまま進んでいくことに、先頭に立ち活動している方の多くが不安を感じているが、その認識は  (2)今後の進め方について、具体的な方法、スケジュールについて伺う  (1)学校支援地域本部事業 1年目の取り組み詳細とその評価を伺う  (2)地域教育協議会の開催が事業としてあげられていた。各中学校区での現状と課題について伺う  (3)「全国学力調査」及び「県学力調査」の結果を受けて分析と今後の取り組みについて示された。キャリア教育、特に「夢」発見ウォークの効果が、非常に良い方向に現われている。地域が関わることで、子供たちが変わってきている事を理解してもらおうことが、何より重要であると考えますが、地域への情報発信、情報共有をどのように図っていくのか	
16	18	光 谷 由 紀 子 (一問一答)	1.指定管理者制度について  2.雪害による倒木、倒竹処理への助成を  3.上代タノ先生の顕彰を	(1)施設の不整備での「ゆとりの里」の指定管理者制度導入は問題ではなかったのか  (2)制度導入の、公施設の整備は万全の状況か  (3)交流センター構想では、制度導入が計画されているが、施設に問題はないのか  (1)県・市道の処理については業者対応が図られたが、個人処理について苦慮の声が出ている。何らかの処理対応を求める  (1)3月8日は国際女性デーである。大東町出身で日本女子大学の学長であった上代タノ先生は、女性の教育の推進、世界平和へのアピールをされた偉大な功績がある。市として顕彰されることを求めるが、考えは	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.母子保健事業について	<p>(1)3月1日～8日は「女性の健康週間」となっている。女性が生涯を通じ健康で明るく充実した日々を自立して過ごすためには、女性の健康問題に理解が重要と考えるが所見を求める</p> <p>(2)厚労省の2年間の助成措置を受けて、今年度から妊婦検診助成を14回実施される。2年限りの助成ではなく、国に対し継続助成を求めるとともに、市としても継続されることを求めるが、考えを伺う</p> <p>(3)妊婦検診時に、子宮頸がんの原因ウイルスを調べるヒトパピローマウイルス(HPV)検査の無料実施は取り組まれているのか</p> <p>(4)20～30代の子宮頸癌が増加していると言われている。若い人々への積極的な検診の呼びかけと、実施が必要だ。保育園、幼稚園、学校等の行事での実施と、検診費の助成措置も必要ではないか考えを問う</p> <p>(5)子どものヒブ(Hib)ワクチンの接種助成について 子どもの細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチンが、昨年12月19日から任意接種が可能となった。自費接種の為、負担が大きい。全国では独自助成を実施したところもある。本市での助成を求めるが、考えを問う</p>	
			5.地域で支え合うまちづくりについて	<p>(1)自殺予防対策について 本市での総合的な対策が求められていると考えるがどうか 現在、不況の中で仕事がないということも大きな原因であるが、対策の考えを問う 身近な人が話を良く聞いてあげることが大切である、との専門家の声がある。傾聴ボランティア養成の取り組みを求めるが考えを問う</p> <p>(2)認知症対策について 年々増加している。実態把握はされているのか 早期発見、早期治療が進行の予防とも言われているが取り組みは実施されているのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			6.保育制度について	<p>厚労省は 100 万人の認知症サポーター養成を求めている。本市でのサポーター養成講座の開催の考えを問う</p> <p>(1)「直接契約制」を柱として、制度が大きく変えられようとしている。問題は入所が困難になることと、家庭の経済力で入所が左右される。また、運営についても、各保育所の収入は、利用者からの利用料と市町村の補助金からなので不安定となるなど多くの問題点がある。所見を伺う</p>	
17	10	藤原政文 (一問一答)	1.教育基本計画について	<p>教育基本計画(平成 17～21 年)の実績・評価を踏まえ、目標達成年度としての 21 年度であることを念頭に、以下について状況、見解、展望等を伺う</p> <p>(1)学校教育について          特別支援専門員は何年間の配置で、具体的にはどのような計画で展開するか          「就学指導委員会」の機能の充実とは、具体的にはどういうことか          心の教育、特に道徳教育の充実について、どのように評価し、21 年度につなげるのか          食育についての評価と 21 年度の取組みは、食生活改善推進協議会とのつながりは、地域とのつながりにもなり、活用すべきと考えるが、見解を          幼稚園での「預かり保育」が 21 年度から実施されるが、具体的な展開は          「教育と子育てを考える市民会議」の状況は</p> <p>(2)社会教育について          「生涯学習推進実施計画」の展開と状況は          「社会教育を推進する人材を育成するプログラム」の具体的な展開は          各総合センターに併任で配置される地域担当職員はどのように関るのか</p> <p>(3)教育基本計画に基づき、平成 22 年度以降に向かってどのようにするのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.行財政改革実施計画及び集中改革プランについて  3.協働について	計画最終年度を踏まえ伺う。 (1)行財政改革に対する第三者機関の設置について  (2)これまでの実績をどのように評価し、今年度どのように展開するのか(達成できた事項、未達成の事項)  (3)平成 22 年度以降の展開は  (1)住民と行政の信頼が最も大切なベースである施策展開は勿論、政策形成過程も含め丁寧な説明が必要と考えるが、見解は	
18	12	細田実 (一問一答)	1.市長の政治姿勢について  2.雇用情勢への対策について  3.定額給付金について  4.町づくりの指針について  5.プルサーマル計画について	(1)小さな政府論からの転換が必要ではないか  (2)雲南市の機構改革による非常勤職員増は更なる雇用不安を増すのでは  (1)「雇用情勢は更に悪化」との情勢だが、雲南市の現状と対策は  (1)その効果は  (2)受取らない、寄付したい等への対応は  (1)人口減少社会と雲南市の町づくり設計は(旧町村、小学校単位のシュミレーションが必要では)  (1)中国電力島根原発で計画されているプルサーマル計画は危険。雲南市として慎重な対応を求めていくべきではないか	